

平成 30 年度 第 1 回未来創造セミナー

「わたしがつくる“健幸都市くさつ”～草津の課題分析・未来構想を考える～」実績報告

1. 開催日時:平成 30 年 7 月 24 日(火) 13 時 30 分から 15 時 30 分
2. テーマ:「わたしがつくる“健幸都市くさつ”～草津の課題分析・未来構想を考える～」
3. 話題提供者:
山元圭太氏(合同会社喜代七代表)
4. 開催場所:UDCBK
5. スケジュール
13 時 30 分～15 時 00 分
第1部 話題提供
①草津市の現状理解(現時点)
②草津市のまちづくり3計画
③未来構想へのアイデア
15 時 00 分～15 時 30 分
ワークショップ「草津市の未来構想を描こう」
6. 参加人数:20 名

7. 報告

(1)島根県雲南市の取組

山元さんの自己紹介のあと、御自身が携わっておられる島根県雲南市の事例を御紹介いただいた。雲南市は人口 4 万人、高齢化率が 35%を超えているまちである。いわば、未来の日本を先取りした地域である。雲南市では地方創生交付金をうまく活用し、子ども、若者、大人さまざまな世代のチャレンジを応援している。即効薬的な少子高齢化政策だけではなく、漢方薬的な人材育成にも取り組んでいる。

そのあと、リラックスして聞いてもらうため、参加者間で自己紹介を行った。

(2)草津市の現状理解(現時点)

山元さんからデータに基づいて、このままでいけば、間違いなく起こる未来の草津市の姿について、全国、滋賀県内他自治体と比較してわかりやすく説明いただいた。

- 22 年後(2040 年)の滋賀県の少子高齢化の状況を全国と比較。

①総人口は全国ほどではないけど減る。

②少子化は全国並に進む。

③高齢化は全国以上に急激に進む。

●滋賀県各市町村の22年後(2040年)の少子高齢化社会の未来予想図を2015年と比較して、堅調型(変化なし)-1市町村、鎮静型(人口減少、少子高齢化が沈静化)-4市町村、高齢強化型(人口変わらず、高齢化が進む)-6市町村、少子強化型(人口変わらず、少子化が進む)-7市町村、激化型(人口減少、少子高齢化が進む)-1市町村(詳細は当日配布資料参照)の5つのタイプに分類

●草津市は5つのタイプのうち、高齢強化型にあたる。

●高齢強化型の処方せんとして、リカレント教育や幼老複合施設などを示した。

●また草津市をデータに基づき3つの地域(「やま」「まち」「むら」)に分け、それぞれの特徴を示した。

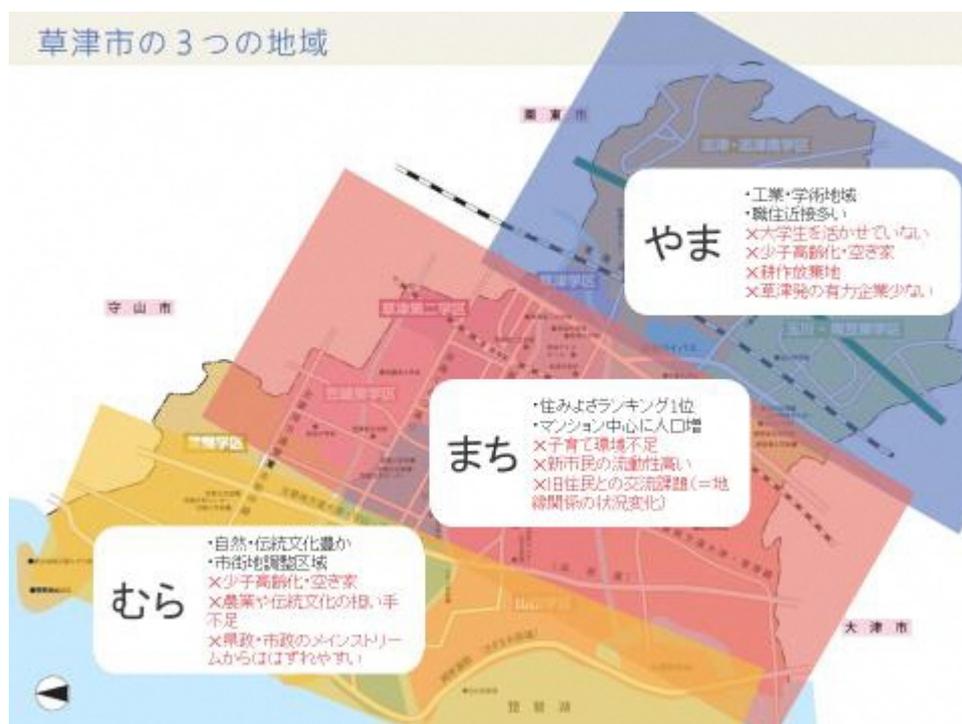


図1. 草津市の3地域

草津市の住みよいまちのイメージは「まち」部であり、「むら」部は既に過疎化が進んでいる。「まち」部の発展が著しいため、平均化すると人口が増え、元気なまちにみえるが、既に危機は始まっている。「まち」部も(人口増は子ども生まれる自然増ではなく、40代前後の転入者による社会増のため)今後急速に高齢化が進むことをデータから明らかである。

(3)草津市のまちづくり3計画

草津市の問題を認識しており、「草津市立地適正化計画(案)」、「草津市版地域再生計画(案)」、「草津市地域公共交通網計画(案)」を検討している。

「立地適正化計画」は「まち」部を、「地域再生計画」は「むら」部を対象に持続可能な都市構造を実現するための計画である。そして、「まち」部と「むら」部を公共交通で結ぶ計画が「公共交通網計画」と考えていただくと良い。

私は「むら」部にあたる下笠町出身なので、「地域再生計画」に関心を持っており、なんらかのかたちでかかわりたいと思っている。そこで、私が関係している島根県雲南市などの事例を紹介する。

(4)未来構想のアイデア

冒頭でも紹介したように島根県雲南市は高齢化率 35%以上であり、将来(2040 年)の日本の課題を先取りした地域であるが、地方創生交付金などをうまく活用しながら、ユニークな取り組みを行っている。草津市も今は少子高齢化の問題がないようにみえるが、地域ごとに細かくみてみると既に高齢化が全国並みの 25%のところもある。現在は高齢化率が低い(20%未満)の「まち」部も急速に高齢化し、将来的には全国並みの高齢化率(30%以上)になることは統計データから避けられない。現時点から対策をうっていくことが大切であることから、参考となる4つの事例を御紹介いただいた。

①参加型地域調査

島根県雲南市加茂地区の事例を紹介する。もともと地域で実施している婚活イベントに人が集まらず、どうすればいいかという相談が発端。その前に本当に若い世代が婚活イベントを求めているかを調査してみることにした。今までのアンケートは全戸(家単位)であったため、家長(高齢者男性)かその配偶者(高齢者女性)が答える傾向があり、実は高齢者アンケートになっていた。そのため、今回は中学生以上の住民を対象に「全人アンケート」を取ることにした。アンケートも「加茂地区で気になっていることは？」として、地域の課題を列举して、課題に対する現在の「満足度」と「重要度」を五段階で回答する方式。課題ごとに「満足度」の合計得点から「重要度」の合計得点を引き算して評価した。合計のマイナスが大きいほど地域にとって大切な課題である。その結果、「防災」となった。「婚活」は 60 代以上のトップであったが、対象世代では 5 位以下であった。

またアンケートでは、自分が「できること」と「してほしいこと」を聞き、「できること」と「してほしいこと」をマッチングさせて「BBQ防災」というイベントを実施した。「高齢者の移動を助けることができる人」が「移動を助けてほしい人」の家に行き、BBQ会場まで連れてきて、みんなでBBQするという趣向であるが、BBQは実は災害時の炊き出しの訓練になっている。

後日談として、「婚活」も諦めきれず、「BBQ防災婚活」を開催したが、やはり人は集まらなかったらしい。

②地域商社

地域にはその地域ならではの魅力的な農産品や工芸品があるが、えてして生産者はその魅力に気づいていないことが多い。そこで、生産者に代わってマーケティングや販路開拓を行い、1円でも高く生産者から商品を買取れることを目指している。

この取り組みは全国で広がっており、この近くでは、「東近江あぐりステーション」がある。

③コミュニティ・ナース

病院や福祉施設に勤める看護師でも訪問看護師でもなく、いつも地域の中において住民と一緒に健康的なまちづくりをする医療人材のこと。この取り組みも全国に広がっており、ぜひ草津市でも取り組んでほしい取組である。

④コミュニティ財団

その地域の暮らしを守り、つくるために設立する「市民」の「市民」による「市民」のための財団である。具体的には地域の人から寄付を募り、それを原資に地域の社会課題を解決する活動に助成、活動支援し、地域の発展、成長を実現する取組である。やはりこの取り組みも全国に広がっており、この近くでは「東近江三方よし基金」がある。

(5) ワークショップ「草津市の未来構想を描こう」

まず、それぞれが思い描く理想の“健幸都市くさつ”が実現したときの状態をA3用紙に記入した。その後、2人組でペアを組み、インタビューを受けるヒーロー・ヒロイン、インタビューする人を交代で演じ、自分が“健幸都市くさつ”の実現に貢献したことを語り合った。その後、学んだことや気づいたこと、草津の未来のためにできることなどを共有した。

8. まとめ

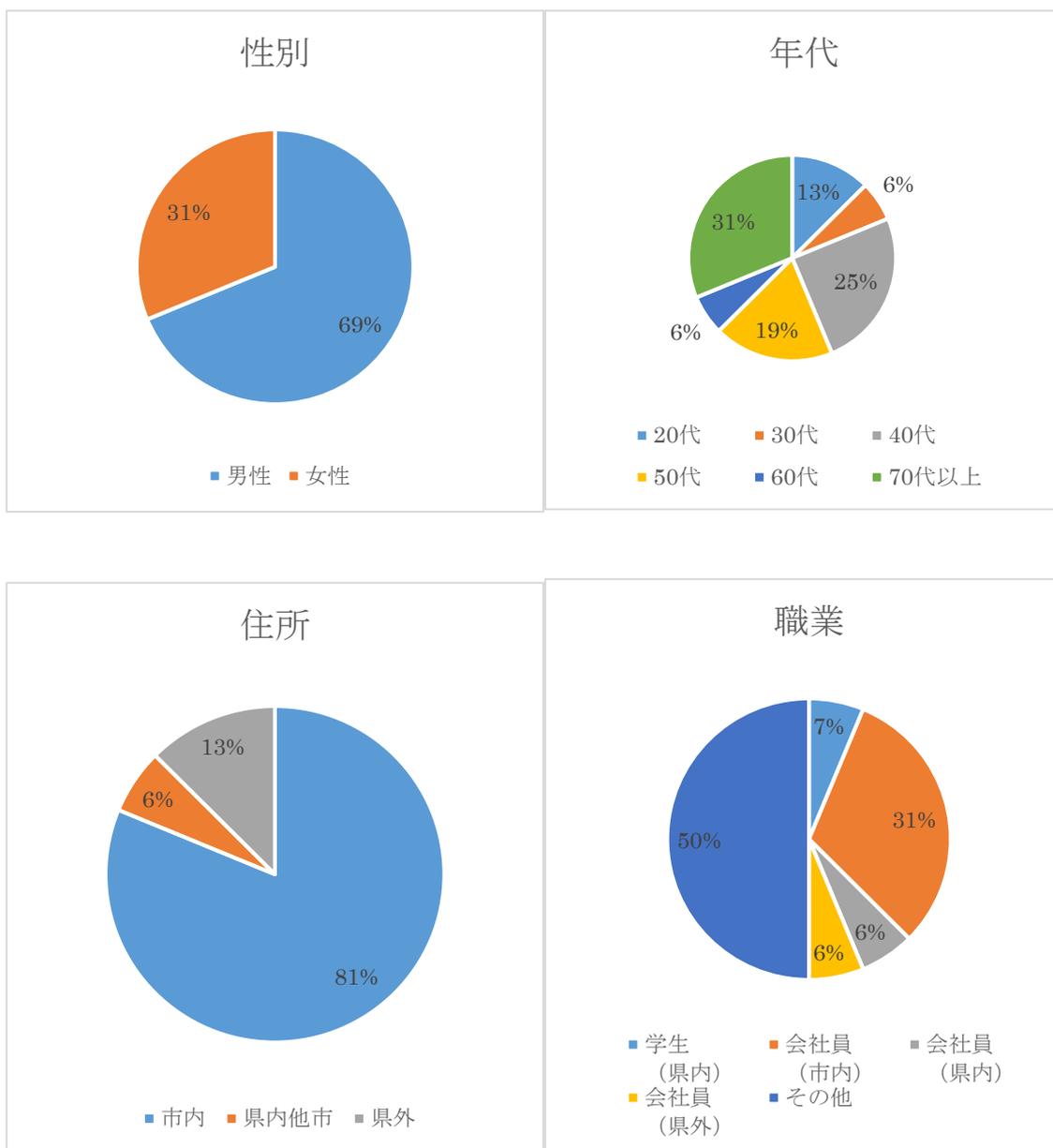
UDCBKのコンセプトは、「地域を知る、互いを知る」、「未来のイメージの共有」、「新たな活動の創出」の3つです。「未来のイメージの共有」はたったひとつの未来のイメージを共有するのではなく、いろいろな未来のイメージがあることを共有することです。今回のセミナーでは、「地域を知る、互いを知る」、「未来のイメージの共有」のふたつに焦点をあてました。「地域を知る、互いを知る」では、山元圭太さんをお願いして、草津市の現状について全国や県内自治体と比較しながら、統計データで示していただきました。セミナー中にも参加者同士が互いを知り合う機会を巧みに設けていただきました。「未来のイメージの共有」については、草津市の未来を統計データに基づき、正確に予測いただくとともに、草津市が将来迎える課題に既に取り組んでいる雲南市などの事例を御紹介いただきました。そのうえで、参加者同士がペアを組み、ヒーロー(ヒロイン)インタビューというユニークな演出で、即興的に参加者がもつ未来のイメージを言語化できました。これにより、参加者のみなさんはいろいろな未来のイメージがあることを知ることができました。

UDCBKでは、今後も様々なテーマ、様々な手法を取り上げながら、それぞれの持つ未来のイメージを様々なメディア(言語、絵、模型など)で表現し、具体的な新たな活動を創出していきたいと考えています。

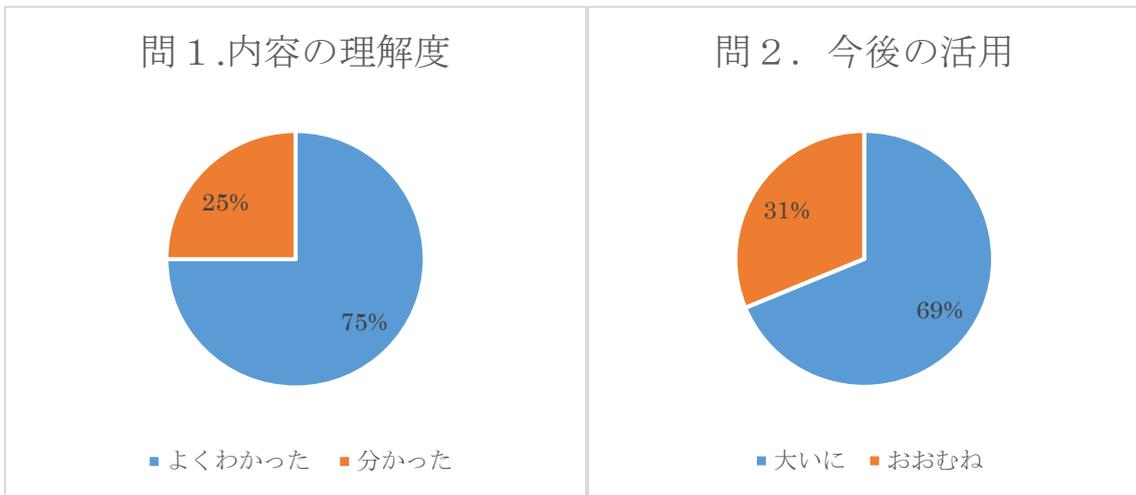
9. アンケート結果

参加者 20 名のうち、アンケートに回答していただいた方は 16 名でした。アンケート回答率は 80%です。

(1) 参加者属性



(2) セミナーの内容について



(3) 内容に関する主な自由回答

- 今回も楽しいセミナーでした。また次もお願いします。
- とても勉強になりました。
- 全国から視察にこられて学ばれている内容なので、UDCBK でこのセミナーがうけれるのはとてもとてもラッキーなのです。このセミナーの内容をどれだけ活かせるかだと思います。
- 次回を期待します。
- 次も参加させて頂きたいです。
- わかりやすい説明でよかった。
- お話を聞いて自主性で考える事を年齢を問わず、感じていくことが必要かと思いました。
- 草津の現状をより深く具体的に知る事ができ大変有効でした。山元さんのトークもとても分かりやすく興味深く面白いものでした。このプレゼンを草津市長にも聞いて頂きたいし、我町内会(桜ヶ丘)でも披露して頂きたい。
- 非常におもしろかった。興味がさらに出てきた。
- 現実がわかって、なおかつ、それを変えていくという山元さんの考え方がすばらしいです。
- 玉川学区の問題(空家・独居老人 etc)が実はかくれているのに、大変だ！と気付いてほしい。
- 草津の現状を理解でき、とても勉強になりました、さらにまちづくりに興味を持ちました。

以上